

### 3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)	良くなる	コンビニ（経営者）	・暑い夏がやってきている。売れ筋の在庫をしっかりとって売り込みたい。天候に左右されるといっても、客の買い方や店の売り方にも徐々に工夫が見えてくる。
		衣料品専門店（統括）	・今は夏祭りが最盛期ということである。昨年の東日本大震災後の祭り自粛は、最近まで大変影響があった。最近になって、今年は夏祭りが非常に元気であり、これからも景気に反映していく。
	やや良くなる	コンビニ（経営者）	・昨年から海の客が全然来なかったが、今年になってかなり戻ってきている。
		家電量販店（営業担当）	・省エネ商材の販売量は増えてきている。LED照明、産業用の太陽光発電の売電に対する依頼は増えている。今後、期待できる商品である。
		乗用車販売店（販売担当）	・2、3か月先はそれほど極端に良くはならないが、多少なりとも新規客が来始めているため、風評被害が払しょくされて観光客が来てくれれば、当地は観光地なので良くなると思う。新規客がちらほらと増えてきているため、多少良くなってきている感じがする。販売台数もそれなりに横ばいで、何とかやっている状態である。
		住関連専門店（仕入担当）	・昨年は8月から石油ストーブが売れ出すなど、まだまだ東日本大震災の余波による商品動向が顕著であった。その分のマイナスを埋めきれない傾向は継続し、デフレ傾向も相変わらずであるため、厳しい8月が予測される。
		一般レストラン（経営者）	・来客数、客単価共に多少上がってきている。
		旅行代理店（副支店長）	・秋口から秋の行楽シーズン時期までの受注は悪くない。景気が回復してきているとは言えないものの、受注件数や問い合わせが増えてきている。円高と原油価格等、安定が心配ではあるが、今月より先の旅行者は増えてきている。
		旅行代理店（営業担当）	・旅行業界にとって、今の国内状況はプラスの要素ばかりである。
		通信会社（経営者）	・半期を越えたあたりからの行政予算や、秋のイベントの見積等が動き始めている。このあたりで多少持ち直さなければ、年を越すことさえままならない。
		その他サービス [フィットネスクラブ]（マネージャー）	・国際情勢もある程度安定してきて、日本の政局も一時の不安定な状態から安定に向かっていると思う。その点を考慮して、景気は良くなると思込む。
		設計事務所（所長）	・消費税増税の議論もあり、そろそろ補助金頼みではない民間物件が増えてくる。
		住宅販売会社（従業員）	・酷暑、電力ひっ迫、原子力発電所の問題等から、首都圏の富裕層が県内にセカンドハウスを購入しようとする需要が広がることを期待している。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税増税前の駆け込み需要で一時的に良くなると思うが、円高、欧州の信用不安等、将来に対する不安が大きく長続きはしない。
		変わらない	
一般小売店 [精肉]（経営者）	・納涼祭や夏祭り等イベントが多く行われているが、暑さには勝てない。その日だけの動きなので、全体では見込みはない。		
一般小売店 [家電]（経営者）	・消費者は必要に迫られた出費が多く、売る側が仕掛ける施策にはなかなか乗ってこない。相変わらず商品の動きは期待できない。		
百貨店（総務担当）	・ここ1、2年でシルバー労働者が増加しており、正社員が以前より少ない。各家庭の収入も全体として、一部を除いては消費に回るようなお金が以前から比べると少なくなっている。また、車もテレビも買換えなどがもう終わってしまい、これからは全体的に大型のお金が動かなくなっていく。お金があるかないかは分からないが、あまり使わない傾向になっていく。		
百貨店（販売促進担当）	・中元ギフト商戦は大苦戦したまま終了した。また、夏物クリアランスの日程が遅くなって短期決戦となったが、すぐに終息してしまった感がある。今後は季節要素での上下はあるだろうが、好転させる材料が見当たらず、売上は変わらない。		
百貨店（店長）	・政治経済の環境が好転する見通しを持ち得ないことが大きい。		

スーパー（店長）	・周りに大きな与件の変化はない見込みであるため、このままの状況が続く。
スーパー（店長）	・曜日ごとの客数は、数か月間変化がない。
スーパー（総務担当）	・増税と年金を含めた社会保障の先行きに不安があり、依然として財布のひもが固く、今必要な物だけを買う状態が続く。
スーパー（統括）	・給与、賞与の減少、ガス、電気料金の値上げ、ガソリン価格の高止まり等で、可処分所得が減少してきており、消費意欲の先行きを懸念する。
コンビニ（経営者）	・8月も7月に引き続き暑さ関連の商品が中心であるため、ある程度持続すると思うが、9月以降はまた、ある程度下降する。
コンビニ（店長）	・街中の再生ということで各種イベントを行っているが、各地の大型イベントには比ぶべくもない。年々人出も少なくなっているようで、こういった傾向が今後とも続き、現状維持が精一杯である。
衣料品専門店（経営者）	・電線類の地中化工事が終わるまで現在のままである。
衣料品専門店（店長）	・涼しい日が続けば単価の高い秋物の動きが良くなるだろうが、長期予報によると残暑が厳しいようなので、期待はできない。
衣料品専門店（販売担当）	・物の買い方が今までとは少し違い、単価が若干上がってきている。この背景にボーナスシーズンがあるかは何とも言えないが、そういった状況を踏まえて波が出てきたことは、もしかしたら幾分なりとも希望が持てるような背景があるのかもしれない。そのあたりを考えると、今月とは変わらないくらいで推移していくという印象を持っている。
家電量販店（店長）	・当業界は、3か月後は一応閑散月に入る。
乗用車販売店（営業担当）	・エコカー補助金が終了間近ということで駆け込み販売が少々あったが、まだまだ低調である。
自動車備品販売店（経営者）	・身の回りで活発に動く要因がない。インフラの整備など良い話が多いが、このままの状態プラスマイナスゼロといったところである。
住関連専門店（統括）	・消費税や政局の問題によって支出を控える傾向に加え、天候が高温の影響も受けて、安定的な客数が見込めない状況である。
一般レストラン（経営者）	・経済状況が今のままだとそれほど良くなるとは思わないが、これ以上は悪くならないと思うため、変わらずにあまり良い状況ではない。
一般レストラン（経営者）	・秋の行楽シーズンまでは現状が続く。
スナック（経営者）	・これより下はないと思うが、これが続くともう災害みたいなものである。少しでもいいので、良くしていく努力をして欲しい。
スナック（経営者）	・先行き不透明ではあるが、今月より良くなるとは思えない。
スナック（経営者）	・これ以上悪くなって欲しくないという希望から、変わらない。
観光型ホテル（営業担当）	・今年の国内の傾向は、南方面への旅行が好調であり、甲信越への旅行に大幅な伸びは期待できない。
観光型旅館（経営者）	・現在の景気の低迷が続くと思う。
都市型ホテル（支配人）	・現状はまだ客の動きが悪く、2～3か月先もそのまま継続する。
都市型ホテル（スタッフ）	・相変わらず景気は、変わらない現状が続く。いろいろな大会や催し物が入ってこない、限られた人口なので、それほど動きがない。
都市型ホテル（営業担当）	・ホテルはやはり年末に向けて多少、稼働が上がっていくところがあり、それを期待したいため、現時点よりは多少良くなる。
旅行代理店（経営者）	・株価は毎日値下がりが大きくなっているため、世界的な不景気が大きく押し寄せるのではないかと大変危惧している。早く政権をしっかりと固めて進めることが大切である。
旅行代理店（所長）	・秋の行楽シーズンの動向は弱含みである。まだまだ福島第一原子力発電所の事故に関する不安もあり、さらには景気の先行き不安も足を引っ張っている感が否めない。
旅行代理店（副支店長）	・旅行商品の間際化が年々激しくなり、1か月先の見通しも立たない。
タクシー運転手	・円高、株安、マインドが悪い。

通信会社（経営者）	・猛暑が続き、エアコンは例年より販売台数が伸びているが、その分LPガスの消費量は減っている。全般にはあまり良くない状況が続いている。	
通信会社（営業担当）	・電気料金の値上げ、節電等ネガティブ要素が多いため、節約傾向が強くなり、消費については停滞状況が続く。	
通信会社（局長）	・アメリカ経済の見通しなどから、国内においても当面、2、3か月先は大きな変化はなく、変化が表れるのはその先ではないか。	
通信会社（総務担当）	・景気の先行きが不透明であり、消費が低迷したままである。	
テーマパーク（職員）	・風評被害や天候不順などの要因があり、良くなると思える材料が乏しい。	
遊園地（職員）	・夏の新規アトラクションがオープンしたことや、学生の夏休みシーズンが継続することにより、2～3か月先の景気も現状を維持する。	
ゴルフ練習場（経営者）	・県や市が復興の公共事業をして街に活気を出してくれないと、街に明るさが戻らない。	
ゴルフ場（業務担当）	・2、3か月先の予約状況もコンペなどの引き合いがあり、土曜、日曜又はそのコンペの取り込みもほぼ進んでいる。ただし単面的には、やはり価格面での交渉の引き合いが結構あるため、取り込みはできても売上が伴わず少し疑問である。今のところ、今年は猛暑のために若干伸び悩んでいる部分が秋のシーズンに入って持ち直してくれればと思っているが、来場者は確保できても収益の改善がどの程度見込めるかは疑問である。	
ゴルフ場（副支配人）	・来場者数の予約の動きは、前年実績を見ると2、3か月先まで予約が入っている状況で、さほど変わりはない。ただし、電気料金の値上げ、消費税の今後の増税等を考えると、先行きにあまり良い材料はない。	
競輪場（職員）	・全国の記念競輪の売上がほぼ同額で推移している。	
美容室（経営者）	・8月に向かって外気温が上がってもカットの客が増えない状況にある。美容院にとって、以前は猛暑はプラス要因だったが、マイナス要因になりつつある。これから先、来客数は不透明な状況になっている。	
その他サービス〔清掃〕（所長）	・消費税の議論等を考えると、先行きの需要に大きな変化は見られない。	
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・各テナントやホテルの予約状況は、ほぼ横ばいである。単価もほぼ横ばいで、総体的な販売も横ばいであるため、変わらない。	
設計事務所（経営者）	・復興支援・住宅エコポイント制度も終了し、更に建設着工数は減る。	
設計事務所（所長）	・非常に厳しい状態だが、上半期決算を控え、お盆キャンペーンなどイベントを行い、受注できるよう努力したい。	
設計事務所（所長）	・景気が良くなるという要因が全く無い。先行きの不安ばかりが募る状況である。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・消費税引き上げ前の需要の気配は全く見られない。最近の暑さで、外を歩いている人がいない。
商店街（代表者）	・世間一般が景気が悪いと言うせい、皆お金を使うのを控えているようであり、今後も決して良くなるとは思っていない。また、当店の扱うスポーツにおいては、特にお盆を過ぎると毎年のように売上が悪くなっていく。	
商店街（代表者）	・給料は減る負担は増えるは、余分な物を買う心境ではなく、気分は節約であると、来客が言っている。	
一般小売店〔乳業〕（経営者）	・良くなる要因がない。相変わらずの停滞感である。	
一般小売店〔家電〕（経営者）	・この先、核になる商品が見当たらないことが不安である。	
百貨店（営業担当）	・天候が不順になる。	
百貨店（販売促進担当）	・増税の議論に電気料金値上げなど、景気が好転する要因は皆無である。また、長期予報では残暑となる見込みで、秋物衣料への影響が懸念される。	
スーパー（経営者）	・業界全体でも同じ傾向にある。競争激化とともに、更に悪化する模様である。	
コンビニ（経営者）	・夏休みが終わり、来客数が減ると思う。	
コンビニ（店長）	・同業他社がまた急に出てくるようになり、今後は少し厳しい。また、他のスーパーなどの形態で安売りや時間帯変更等があり、その部分でも今後は大分厳しそうである。	
家電量販店（店長）	・前年比の尺度では改善の方向へ向かう。地上デジタル放送特需の影響が一巡し、オリンピック需要が映像の回復を後押しする。	

		乗用車販売店（従業員）	・エコカー補助金終了の反動が発生するのではないかと危惧している。お盆の月は需要が低迷し、9月は需要が伸びない時期に入るため、悪くなる状況になる。
		乗用車販売店（統括）	・エコカー補助金の終了による反動減が予想される。
		高級レストラン（店長）	・当社のビルにテナントで入居していた靴屋が倒産してしまった。後の入居も決まっておらず、家賃収入分を稼ぐのは至難の業である。
		一般レストラン（経営者）	・良くなる要因が全くなく、一般の飲食店、レストランがまともな経営をしていくのがかなり難しい状況になっている。地方の何とか、町の何とか、といった商売が、近い将来なくなってしまうそうである。
		タクシー（経営者）	・客の出足が悪いため、この先も悪い。
		通信会社（販売担当）	・日本の大手電機メーカーの業績不振が続いている。また、円高、株安など好転する材料がないため、年末に向けて不安である。
		ゴルフ場（支配人）	・7月下旬から猛暑が急に来たため、年配客の来場が多い平日予約では、熱中症などを気にして屋外のスポーツを控えており、来場が少ない。
		その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・様々な意味で、生活防衛型になる傾向が強まっている。消費税の議論も含め、電気料金の値上げ他、いろいろな形で日本全体でも個人的にも使えるお金が減りそうであるため、生活防衛的な流れがこのまま続いていく。客数がそれほど減るとは思わないが、単価が元に戻ったり上昇することは予測しづらい。
		住宅販売会社（経営者）	・消費税増税の議論、欧州の信用不安などによる円高、株価低迷など悪い材料が多いなか、将来への不安も深まり、長期の借入を控える傾向もあって、消費並びに景気は低迷することが考えられる。高額で生活に直結する不動産などは回復が最後であるため、まだまだ悪くなる。
	悪くなる	一般小売店 [衣料] (経営者)	・今、テレビではオリンピックの様子が放映されている。日本人選手の活躍が毎日のように報道されており、こういうことは良いのだが、景気のほうは何も良いような要素は見えない。
		コンビニ（経営者）	・今後はコンビニの開店がまだ続いている。まして食品をディスカウントするスーパーが非常に多くなってきているため、それが止まらない限り、当店の近くは景気が悪くなる一方である。
		衣料品専門店（経営者）	・デフレの傾向がますます強くなっている。
		乗用車販売店（経営者）	・8月にもエコカー補助金が終了するためである。
		乗用車販売店（販売担当）	・今のところエコカー補助金や、メーカーのほうでも施策でいろいろな補助金を出しているため販売は変わらないが、恐らく2、3か月後に終わってしまうため、その時の売上はがた落ちになると思う。前回の補助金の時もそうだったので、今回も同じである。
		住宅販売会社（経営者）	・不動産に対するムードが全くない。買う意欲も借りる意欲もないため、悪くなりそうである。
企業 動向 関連	良くなる	その他製造業 [環境機器] (経営者)	・10月の決算までに、第3の柱として太陽光発電の社内導入設置を計画中である。
	やや良くなる	広告代理店（営業担当）	・夏場の観光時期は、広告宣伝が多少活発になる。
(北関東)	変わらない	食料品製造業（営業統括）	・国産ワインコンクールによる認知度のアップや、ソムリエの力を借りて市場の拡大を図っているが、相変わらず円高の影響による輸入ワインの攻勢に苦戦が続く。
		化学工業（経営者）	・生産工場であるため、電気を結構使っている。電気料金の上昇分は、市況が悪いので製品価格に転嫁はできないと判断している。全部当社での負担となるため、誠にづらい。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・年末季節商材の見込みはあるものの、試作品如何により動向は不透明である。当社が展開している夏休み体験工房の予約は僅かながら見込める。
		金属製品製造業（経営者）	・3か月先は良くなるという確信はないが、現在、平均的な仕事量があるため、このまま変わらないでいく。
		一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関連は好調を維持するものの、建設機械関連は秋口に回復する見込みが立たず、全体としては現状と変わらない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・今まで注文があった企業がなくなっていて、減少している。

電気機械器具製造業 (経営者)	・自動車関連は8月以降は落ち込みそうである。住宅関連は10月ごろから東日本大震災の復興需要が出てくるのではないかとされているが、出てみなければ分からないし、今のところ復興需要は当分先になるという気がする。	
電気機械器具製造業 (経営者)	・2～3か月は仕事を確保できそうである。それ以降は、確定はしないものの、営業努力によって確保していきたいと思っており、何とかなる。	
輸送用機械器具製造業 (経営者)	・受注量や取引先の様子は毎月目まぐるしく変わり、これから先のこと、特に2、3か月後は毎月分からない状況である。非常に良い会社も悪い会社も客にあるため、2、3か月後の状況は変わらないぐらいの状況でいけばいい。	
その他製造業〔宝石・ 貴金属〕(経営者)	・ここ2か月はジュエリーの展示会も少なく、秋口の需要回復を期待しながら新商品を開発する時期に当たるため、大きな変化は見込めない。	
輸送業(営業担当)	・具体的に景気が上向くような材料がない。国の助成金制度やエコポイント等の対策も乏しい状況なので、季節替わりの衣類、家電等の例年並みの荷動き、物量はありそうだが、現状では現状維持が精一杯である。取引先の中ではインターネット販売等向けの物量の伸びが目立っており、他は少し減っているため、今後とも厳しい状態が続きそうである。	
金融業(調査担当)	・底堅い海外需要や東日本大震災の復興需要が国内景気を下支えするとみられるが、県内では海外需要の下振れへの不安に加え、復興需要への期待も小さく、先行きに慎重な見方をする企業が多い。特に国内受注が中心の中小製造業では受注競争の激化を懸念しており、今後景況感の格差が一層拡大することも予想される。	
金融業(経営企画担 当)	・円高が改善する要素がなく、打開策がない。	
新聞販売店〔広告〕 (総務担当)	・広告主への積極営業の割合より、広告主の意向によるところが大きいチラシ媒体の停滞は、そのまま積極展開をちゅうちょする広告主の意思表示ともみえる。一部量販店を含め、小売店の様子見状態は続く。	
経営コンサルタント	・住宅等、生活関連にやや動きがあるが、全体的にどの業種もあまり変化はない。	
司法書士	・一進一退の中で、恐らく変わらないレベルだと思う。一つだけ、近隣施設が世界遺産に推薦されることによる波及効果が出てくる可能性もあると考えているが、期待薄の線のほうが強そうである。	
社会保険労務士	・夏のイベントが例年どおり行われるようになったが、元に戻った程度である。秋以降も大きな変化はなく、今の状態が続きそうである。	
その他サービス業〔情 報サービス〕(経営 者)	・先行き不透明感があり、情報化投資も抑えられている。厳しい状況が続く。	
やや悪くなる	食料品製造業(経営 者)	・電気料金の値上げや将来の増税に備えて、消費を控えている傾向が強まっていくのではないかと心配する。
	一般機械器具製造業 (経営者)	・先月同様、海外進出の様相の線上にあり、長い時間をかけて、ある点に止まりそうである。
	電気機械器具製造業 (経営者)	・新機種の計画待ちであり、この動きによって受注が左右されるため、現状では先行き不透明である。
	電気機械器具製造業 (営業担当)	・政治不信や円高など、景気を良くする材料が見当たらない。仕事量が少ない分、受注の価格競争がし烈になっている。
	通信業(経営者)	・社会保障制度の改革もおざなりにして、消費税増税を決めようとし、電気料金の値上げを認める政府である。庶民は将来の不安を考えたら節約するしかないだろう。将来の不安がないのは能天気な政治屋と公務員だけである。
	金融業(役員)	・円高で国内の製造業が海外に行ってしまうなかで、国内の下請業者は価格面で相当たたかれており、非常に収益面で厳しくなっている。それに伴い、夏の電力需要の関係でもかなり生産がセーブされ、売上が上がらず、収益が出ない。このあたりの連鎖反応が今後出てくる。
	不動産業(経営者)	・先が見えない不安感が浸透しており、諦め、消極思考が、会う人々の口によく上っている。
悪くなる	食料品製造業(製造担 当)	・このような状況下でも、下をくぐり抜ける業者が跡を絶たないため、本当は苦しくて資金的にも厳しいが、売上欲しさに安売りが横行して原価割れし、支払が厳しくなる企業が出てくると思う。見た目は分からないのだが、財務内容が相当悪くなる。

		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが本当に大変である。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主力自動車メーカーからの生産の3か月見通し上では、今月がピークでゆるやかな減少傾向に入っている。しかも直近ではそれ以下に落ち始めているようで、7月が踊り場的な状況となっているため、3か月後以降は非常に状況が悪化する。特に電気料金の値上げに伴い、関西系企業との競争が激しくなってきたこともあり、非常に困った状況である。
		建設業（総務担当）	・公共工事主体で土木、舗装工事を行っているが、今期も決算まで2か月となってしまった。後で資金繰りが厳しくなってしまうので、工期短縮による利益計上を重点に行動したい。
		不動産業（管理担当）	・管理を委託されているビルの売却の話がある。新しいオーナーが引き続き当社に管理を委託するにあたって、受注価格の見直し、引き下げは当然要求してくると思う。ビル全体の管理は受注金額が大きく、受注額の減少は売上への減少に直接かかわってくるため、危機感を持っている。
雇用 関連	良くなる やや良くなる	—	—
(北関東)		人材派遣会社（経営者）	・家電関係のエコの冷房機、冷蔵機などが少しずつ動きを見せている。衣料品はまだ伸び悩んでいる状態と見られるが、食品関係、飲物、ビール、発泡酒等がやはり活発さを見せてきているため、少しずつ期待を持っている。依然として自動車関連の部品関係あたりは少し不透明なところがある。
		人材派遣会社（管理担当）	・9月の住宅関連の求人依頼数が増えている。
		職業安定所（職員）	・求職者の減少に伴い求人数が増加してくると申し分ないが、企業サイドの採用意欲は横ばい傾向にあり、求人申込状況は前年とほぼ同水準にある。景気のプラス要因が見えてこない、雇用動向は厳しいままである。
		職業安定所（職員）	・製造業は円高等の影響もあって求人数が伸びてこないが、それ以外の業種においては人手不足感がある。求人社の採用意欲も高まっており、就職に向けた相談が多くなっている。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・今後3か月ぐらいは忙しい状態が続く。その後は分からないが、今は最高に良い。
		人材派遣会社（営業担当）	・円高と欧州の経済不安で地域企業がダメージを受けている。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・業種により夏のパート、アルバイトの求人はあるものの、あくまで季節的なもので、求人状況は上向かない。
		職業安定所（職員）	・各数値を見てみると、ほとんど動きがない。細かく見ると、新規求職者数と雇用保険受給者数はわずかだが減少傾向が見られる程度である。
		職業安定所（職員）	・円高が続いていることと、オリンピック終了後の欧州の信用不安関連の動きが不透明なためである。
		職業安定所（職員）	・管内の状況は、前年同月比で求人数は微増しているが、前月比では若干減っている。介護関係では求人が増加しているが、前月から見ると販売、営業、接客、サービスで減少している。また、製造業の企業の話でも、受注が1～3か月程度で、まだ先が読めない状況が続いているということである。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・一般の求人もさることながら、高校生の求人が少ない。この状況で過当競争となっている。景気の動向を見ながら求人を控えている企業や、より質の高い求職者を求めている傾向もみられる。
	やや悪くなる	○	○
	悪くなる	—	—